

杏林

KYORIN DAIGAKU SHIMBUN

大学新聞

1～3 面	4 学部学生座談会 私たちの“井のキャン”ライフ	5 面	卒業生、在学生リレー 企業研修など行う会社社長 加藤靖子さん 保健学部 木山 龍さん 文部科学省補助対象事業報告
4 面	杏林見聞録⑦ 総合政策学部 木暮健太郎准教授 新たにキャンパス用地取得 2017 年度入試情報	6・7 面	学部・大学院トピックス
8 面	連載 金田一教授の研究室から 健康ひとくちメモ クラブ紹介 ダンス部、バドミントン部		

4 学部学生座談会

井の頭キャンパスで始まる新たな学びと交流

私たちの“井のキャン”ライフ

2016 年 4 月に井の頭キャンパスが開校して半年。新入生はじめ、八王子キャンパスから移ってきた保健学部・総合政策学部・外国語学部の 2 ～ 4 年生にとっても、学習・生活環境は大きく様変わりしました。

1 年生の必修科目「地域と大学」で、4 学部の学生が一緒に受ける授業が 3 回行われたほか、三鷹キャンパスを本拠とする医学部の 1 年生が金曜日は毎週井の頭キャンパスで過ごすなど、全学部が三鷹の地に集結したことにより 4 学部の連携による総合大学の利点を活かそうという新たな杏林教育が始動しました。

10 月には、初めて 4 学部合同で杏園祭を新キャンパスで開催します。

4 学部の学生に集まってもらい、彼らが親しみを込めて呼ぶ「井のキャン」ライフについて話してもらいました。



栗原 黎江（くりは られい）
外国語学部英語学科 4 年、イン
テンシブクラスで学ぶ。2 年次
にオックスフォードに留学。八
木橋ゼミナール、JAL 客室乗務
職内定。千葉県出身



嶋津 光（しまつ ひかる）
総合政策学部企業経営学科 1 年、
GCP（グローバル・キャリア・
プログラム）のコースで学ぶ。
新潟県出身



杏林学園創立 50 年に誕生した井の頭キャンパス。三鷹キャンパスと教育エリアが一つになり、次なる時代に向け大きく飛躍する教育体制が整った。杏林大学はいつの時代も、建学の精神「眞善美の探究」にもとづき「優れた人格を持ち、自己を律し、人のために尽くす」ことを教育をとおして学生に伝えてゆく。上の写真は、本部棟に掲げられた学部カラーのバナー（左から医学部、保健学部、総合政策学部、外国語学部）



小林 祐輝（こばやし ゆうき）
医学部医学科 1 年、東京都地域
枠で入学、硬式テニス部、ESS、
ぬいぐるみ病院部で活動。千葉
県出身



吉地 静佳（きちじ しずか）
保健学部作業療法学科 3 年、杏
園祭実行委員会委員長。ボラン
ティア部に所属し定期的に杏林
大学病院小児科に入院する子供
たちを訪問。長野県出身

キャンパスライフが大きく変化

学校帰りに情報誌に出ている お洒落な店にも行ける

吉地：これまでの八王子キャンパスは駅から大変遠く、一旦登校したら、授業やクラブが終わるまでキャンパスを出ることはありませんでした。

井の頭キャンパスは最寄り駅の吉祥寺や三鷹に歩いても行けます。なかには、空き時間に吉祥寺に行って、戻ってくる、という元気な友だちもいます。

栗原：八王子キャンパスに通っていた時も、駅から大学までバスを利用していました。今では、自宅からバスと電車の乗車時間が半分になったので、その分図書館で自習をしたり、先生と話をする時間が増えました。

それから、情報誌にも掲載されている

ような人気のカフェに、学校帰りに友だちと行けることも楽しみの一つです。

嶋津：東京に出てきてまだ半年なので、生活は戸惑うことも多いです。

まだ環境に慣れず、都内をあちこち見物したりしていませんが、7 月の交流会で知り合った海外の人と近場の吉祥寺などに出かけることがあります。このあたりは緑が多いわりに、探検したくなる面白い店がたくさんあります。

小林：千葉から 2 時間かけて通っています。三鷹駅までは電車の乗換えがないので、音楽を聞いたり、本を読んだりしています。

金曜は 1 限から井の頭キャンパスで授業があります。三鷹および吉祥寺駅から井の頭キャンパス行きのバスが出ているので便利ですね。

学びと交流の拠点 図書館・語学サロン

「井のキャン」で金曜日授業の 医学部 1 年生も利用

吉地：保健学部ではグループで予習・復習、学習のまとめをすることが多いので、図書館のグループ学習室をよく利用しています。何より明るく、開放的で、使いやすいです。

嶋津：GCP（グローバル・キャリア・プログラム）^{注1}では毎日英語の本を読む課題があるのですが、3 階の閲覧室はそういう本が揃っているのでよく利用します。授業で行うプレゼンの準備はグループ学習室でしています。

小林：前期のテスト前は、三鷹キャンパスの医学図書館が混むので、井の頭キャンパスに行く学生が多かった。普段でも「井のキャンに行ってくる」という声を



井の頭図書館

2 階のラーニングコモンズはコミュニケーションしながら知的創造をするフロアで、グループ学習室、オープン学習エリアを配置している。

勉強や読書に疲れた時に利用できるリフレッシュルームが各階にある。3 階は人文・社会科学系フロア、4 階は自然科学系フロアで、それぞれ専門雑誌架、AV プース、書庫などが配置されている。館内は Wi-Fi 環境が整備され、PC の貸出も行っている。

オープン以来、4 学部生、看護専門学校生などが利用しており、書籍貸出数や学習施設の予約が大幅に伸びている。



よく聞きます。

栗原：就職活動中、図書館のグループ学習室を利用し、友だちとエントリーシート の作成や筆記試験対策の勉強会をしました。周りを気にせずに話し合いができたのでとても集中して取り組む事ができました。

また、図書館の2階はとても広々としていて開放的な空間です。4年生になると大学に行く機会も減ってしまいますが、図書館に行く と絶対に友だちに会えるので安心します。

嶋津：水曜の午後は授業がないので、**英語サロン**^{注2}に通っています。週末の予定や趣味の話のほか、自分が当たり前と思っている身近なことがアメリカでは異なり、その違いを知るのも楽しい。**ライティングセンター**^{注3}は混んでいて予約が取りにくく、まだ1回しか利用していません。

最近 は皆で集まると留学の話をよくするようになりました。

小林：普段は三鷹キャンパスで授業を受けている医学部生は、金曜は井の頭キャンパスで授業を受けます。

授業が終わると部活があるため、三鷹キャンパスに戻る人が多いのですが、学生の中には英語サロンを利用している人もいます。

吉地：保健学部でも**海外研修**^{注4}に行く学生は英語サロンを利用しています。海外のOT（作業療法士）の仕事の内容にも関心があるので、実習とかぶらなければ、私も語学研修に行ってみたいです。

小林：上級学年になると英語で論文を書く機会もあると先輩から聞いたので、ライティングセンターに行ってみようと思います。

栗原：友だちがライティングセンターでアシスタントをしています。留学経験もあり、熱心に指導してくれるので、ぜひ利用してもらいたいです。利用者からは、

学生同士なので気軽に質問できるし、教え方もわかりやすいと評判です。

井の頭キャンパスでの新たな学び

4 学部生の合同授業「地域と大学」他学部生とコミュニケーションできれば大学の全体像がわかる

小林：前期の授業「**地域と大学**」^{注5}の一部を4学部合同で受講しました。グループは私のほかに保健学部が3人、総合政策学部が1人、外国語学部が1人でした。

地域に受け入れてもらえるには、どうい う活動をしたらよいか、KJ法（蓄積された情報から必要なものを取り出し、関連するものをつなぎあわせて整理し、統合する手法の一つ。紙片を活用するのが特徴で、内容や質がまちまちな情報をまとめ、全体を把握するのに有効な技法）で模造紙に書いて意見をまとめました。

厚労省や三鷹市の方から地域に関する講義を受けたあと、地域をテーマにした試みをグループで検討しました。具体的には、今年から4学部が一緒に行う学園祭を地域にどう知らせるかというものです。

チラシをつくって配布する、杏林のグッズを作ってはどうか、などいろいろな意見が出ました。

皆1年生なので、医学部生らしい発言とか、保健学部生らしい発言はありませんでしたが、地域の人とのつながりを考えるよい機会になりました。

嶋津：初めは、医学部の学生は賢いし、対等に話せるか、壁があるんじゃないかと思っていました。でも授業前、お互いを知るゲームをした時に、そういう壁がないとわかり、印象が変わりました。

私のグループは、医学部が2人、保健学部が2人、外国語学部が1人の構成で、海外からの観光客も多い吉祥寺で4学部



上:GCPが採用するオンライン・レッスン。ネイティブの先生と一対一で徹底的に英語脳を鍛える。
下:7月にはアメリカ人の大学生約20名を井の頭キャンパスに招いて交流会を開催。学習の成果を試すべく、積極的にコミュニケーションをとった。記念撮影では笑顔がはじけた

の学生が関われるイベントについて話し合いました。

その一つが、外国語学部生が通訳し、保健学部・医学部の学生が健康チェックをして、その結果を総合政策学部生がプレゼンする、というもの。それぞれが役割をもって、一つのことができると面白いという発想で考えました。

栗原：私が1年生の時は、地域と大学の授業がなかったので4学部合同の授業のお話を伺い、とても面白そうだなと思いました。学部や学科の異なる学生が、それぞれの視点から意見を交換できるのは他の大学ではあまりないと思います。私も参加してみたいです。

吉地：8学科ある保健学部では、他学科生と一緒にいる授業や交流の場があり、多様な意見を聞く機会があります。

ただ、同じ学部だと考え方が似ているので、保健学部以外の人の考えを聞くのはとてもいいことだと思います。

栗原：卒業するまで自分の学部しか知らないのではなく、授業を通して学生同士が交流できれば、杏林大学がどういう大学か全体像がわかりますね。

英語演けの新カリキュラム GCP (グローバル・キャリア・プログラム) 英語学習のための環境が整う

嶋津：GCPでは、まず英語に慣れることから始まります。授業は日本語禁止、ほぼ毎日英語の授業、他人のミスを笑わない、恥ずかしがらない、授業中沈黙を作

らない、積極的に参加する、間違っても問題ない、1カ月もすると、そんな雰囲気 が教室に生まれました。

これは私たちが担当の先生と約束したルール。毎日担当の先生からメールをもらい、励ましと注意を受けていました。

前期授業の最終日は、「学部のグローバル化を推進する」をテーマに英語でプレゼンをしました。

グローバルの定義を言葉だけでなく文化や習慣など色々な角度から問い詰め、それをまとめて発表しました。

栗原：2年時にイギリスのオックスフォードに半年間留学をしました。授業で英語を話す際、ミスを恐れていた私に対し、現地の先生が「学生なんだから沢山ミスをするのは当たり前。時間がかかっても良いから話してごらん」と言ってくださりとても心強かったのを覚えています。ミスを恐れずに、自分で考え、自分の言葉で想いを伝える力が徐々に身に付いたと思います。

英語を学習するための環境作りはとても大切です。GCPでは、恥ずかしがらずに意見を英語で伝える雰囲気があり、何より学生が能動的に授業に参加しているところが素晴らしいと思います。

嶋津：担当の先生は、「今がスタート」とよく言うので、私たちもその気になっています。

もともとCA(キャビン・アテンダント)の仕事に興味がありましたが、英語が得



4 学部の学生がグループワークで地域の課題に挑んだ「地域と大学」。手前のグループは、各提案を付箋に記し、模造紙の上でグループ化していく作業を、その後ろのグループでは互いの意見を交換している

注1 **GCP (グローバル・キャリア・プログラム)** 総合政策学部で2016年度導入されたプログラム。入学時の英語力は問わない、初年次における徹底的なインテンシブ英語教育(最低週6コマ)、オンラインのマン・ツー・マン・レッスンによる補講、ビジネス・スキルや経済・経営などの専門分野を英語で学ぶ、留学の積極的奨励が特色。現在26名が学ぶ。

注2 **語学サロン (英語・中国語サロン)** 各サロンでの使用言語は英語または中国語のみ。ネイティブの教員や留学生と会話を楽しみながら異文化に触れることができる。留学前後の語学力トレーニングのために利用する学生も多い。学生ならだれでも利用できる。場所は井の頭キャンパスF棟2階。

注3 **ライティングセンター** ネイティブの教員から英文レポートや論文の添削指導が受けられる。アシスタントとして登録している外国語学部生や留学生による指導も好評。高大接続事業の一環として整備。在学生のほか高校生も利用できる。場所は井の頭キャンパスF棟2階。

注4 **保健学部 海外研修**
①カナダ研修：医療施設の視察、現地学生との交流をとおして先端技術と異文化について理解を深める。②オーストラリア研修：クイーンズランド大学で理学・作業療法分野を学ぶ。③イギリス研修：ブライトン大学で看護学を中心に学ぶ。病院施設の見学や体験を行う。④アメリカ研修：レギス大学で放射線技術分野の演習授業を受講する。

注5 **地域と大学** 前期授業で、4学部合同で受講する。地域に受け入れてもらえるには、どう活動したらよいか、KJ法(蓄積された情報から必要なものを取り出し、関連するものをつなぎあわせて整理し、統合する手法)で模造紙に書いて意見をまとめる。



意でなかったため、諦めかけていました。合格通知に同封されていた GCP の案内を見て、これだ、と思いました。「現段階の英語力は問いません。夢を追いかけている人、グローバルに働きたい人へ」と書かれていたのです。この一文が夢を再び追う決意を後押ししてくれました。

いまは、コミュニケーションツールとして英語を一生懸命勉強しています。

地域と大学の架け橋に

学内外のイベントをとおして 楽しみながら地域に関わっていく

吉地：三鷹市の地域のお祭りで、商店会の方と顔見知りになりました。

この地域でアルバイトをしている友だちが何人もいるので、学生と地域の方が親しくなる機会は今後ますます増えると思います。

10 月 8 日（土）、9 日（日）、三鷹キャンパスの学生も一緒に、はじめて井の頭キャンパスで学園祭を行います。学園祭はこれまで八王子キャンパスと三鷹キャンパスに分かれて開催していましたが、今年は井の頭キャンパスに 4 学部生が集結して行われます。

私は杏園祭実行委員会の委員長として、日々準備に追われていますが、学園祭が全ての杏林生の交流の場となることを願っています。

子どもから大人まで楽しめる企画をたくさん用意しています。私たちの日頃の活動を知っていただくためにも、地域の皆さんに来てもらいたいです。



第 27 回三鷹国際交流フェスティバルは 2016 年 9 月 25 日開催。井の頭恩賜公園西園文化交流広場と野球場周辺を会場に、世界の料理やアトラクションが楽しめるテントが並ぶ。メインステージでは、各国の音楽や踊りが披露される。杏林生もフェスティバルの実行委員会やボランティアスタッフとして参加している（写真は 2015 年開催のフェスティバル 三鷹国際交流協会提供）

栗原：去年、私の所属する八木橋ゼミナールは、井の頭公園で開催された三鷹国際交流フェスティバルに参加しました。4 万 8 千人もの人で賑わう都内有数の国際交流イベントで、私たちは世界の国々にまつわるクイズを出したり、地域の方と一緒に海外の方に折り紙を教える教室を開きました。

フェスティバルには、世界の料理を楽しむ屋台が沢山出店しており、音楽あり、サンバありと、とても賑やかで楽しいイベントです。皆さんもぜひ参加してみてください。

視野が広がる 多くの人との交流

海外で学ぶチャンスがあれば 色々なことにチャレンジしよう

小林：海外で自分の視野を広げたいと思っています。どの大学の医学部も海外志向が強くなっています。カリキュラム内で海外に行けるので杏林を選びました。入学前は受験のための英語学習ばかりだったので、海外の人と交流するチャンスがある ESS サークルに入りました。

海外**クリニカルクラークシップ**^{注6}の報告会に参加したところ、ほとんどの先輩は「研修先では、アクティブに行動しなくてはいけない」「自分の意見をもって、積極的に参加することが大事」と話していました。

海外では医療においても日本と異なる倫理観があると思うので、そういうことを現地で学んでみたいです。



オックスフォードへの留学で、ものの考え方が変わり、今までの視野の狭さに気づかされたと言います栗原さん（左端）

栗原：留学中は、劇やチャリティーなど初めて学ぶ分野の授業を受けたり、課外活動も沢山経験しました。

先生の勧めで地域のズンバダンスのクラブにも参加しました。イギリス人 20 人ほどの中に日本人学生 1 人でしたので、最初は緊張して周りの目ばかり気にしてしまいましたが、逆に恥ずかしがり屋の自分を変えるチャンスだ！と思い積極的に輪の中に入って行きました。最後には、時間を忘れてしまうほど楽しんで踊る事ができ、本当に貴重な体験でした。

海外で学ぶチャンスがあれば、色々な事にチャレンジすると思います。

小林：7 月 27 日から 30 日まで**東京都地域枠**^{注7}入学の学生を対象に三宅島研修が行われ、順天堂、慈恵の学生と共に参加しました。

医師は患者さんの病気だけでなく、生活状態まで把握していて、このような地域ならではの人と人とのつながりの強さを感じました。

都の島嶼（とうしょ）地域には、医師が少ない地域があります。そこでは様々な症状から疾患を診断する総合的な知識や全人的な医療の提供が必要で、医療スタッフの負担や責任は大きいと感じました。

グループでの研修報告会や共同生活をとおして、医療に対する考えや価値観の違いを共有できてよかったです。

吉地：実習先で他大学の学生と一緒にすることがあります。上級学年の人から、患者さんの生活を守りながらケア・補助することの大切さや、こうしたら喜ばれたとか、何気ない会話の中から新しい視点に気づかれます。

私は地域で関わる作業療法士になりたいと思っています。患者さんが在宅で安心して生活できる環境をつくるために、専門知識を持つ多くの人とかかわらなくてはなりません。

杏林大学には異なる分野を学ぶ多くの学生がいるので、交流を持ち、考え方の幅を広げるための環境があると思っています。



「なりたい自分」をめざして

先生や仲間との出会い、学びの面白さ、夢に向かって成長する学生たち

栗原：小学生の頃から客室乗務員になりたいと思っていたので、入学時からその目標に向けて頑張れました。1 年次は、オックスフォード留学に参加するためにインテンシブクラスに入ることを目標にしました。2 年次に留学し、異なる文化を持つ人と生活したことで以前より多様性を受け入れられるようになりました。就職活動では、ゼミの八木橋先生はじめ経験豊富な先生方に恵まれ、モチベーションを高く維持できたからこそ自分のベストの結果を出せたと思います。これからも努力と挑戦を続けて成長したいです。

吉地：勉強してきたことが少しずつつながってきましたが、同時に作業療法の学びの奥の深さも感じています。

目の前の患者さんを診る時もその人の背景をしっかりと理解することが大切とわかり、技術だけでなく、学問としてこの分野を深めていく面白さを感じています。

自分から学ばなくては知識を広げられません。人生一生勉強だなんて感じています。

小林：漠然と医者になりたい、という思いで受験勉強をしていました。入学して周りが全員医者をめざす環境になると、どういう医者になりたいかを考えるようになりました。

小児科か産婦人科をめざすことを決めたので、サークルは他にも子どもと関われるぬいぐるみ病院部に入っています。

嶋津：ある先輩が言った、「挑戦すること」という言葉が心に響いています。何かをするとき、ネガティブなことを考えない、失敗したらまた違うやり方でやればいい、と考えるようになりました。

今まで出会ったことのない先生や先輩との出会いは僕自身にとってとても大きいです。

注 5 合同授業「地域と大学」

2016 年度より前期の授業の一部を 4 学部合同で実施。この合同授業では、大学と関わりの深い三鷹、八王子、羽村の各市の概要を理解した上で、地域の課題や学生と大学の関わり方をグループ討議を通して導き出す。医学、保健医療学、人文・社会科学分野を学ぶ学生が共に学ぶ杏林大学ならではの授業。

注 6 クリニカルクラークシップ

医学部 6 年生が行う診療参加型臨床実習。8 週間かけて臨床の現場を体験する。実習先は国内外を問わず、各自が選ぶ。近年、海外の医療施設で実習を行う学生も多く、今年は延べ 14 人が米国、イギリス、中国などで実習を行った。海外でクリニカルクラークシップを希望する学生のために毎年報告会が開かれている。

注 7 東京都地域枠

将来医師として東京都の小児医療、周産期医療、救急医療、へき地医療に従事し貢献したいと考えている東京都在住または都内の高等学校卒業（見込）者を対象にした入試。入学者の学生納付金・生活費は東京都が東京都地域医療医師奨学金として貸与する。本学の 29 年度募集人員は 10 名。

注 8 インテンシブコース

外国語学部に設けられた少人数のクラスで英語や中国語を学ぶコース。発音・イントネーション・文法などを修得し、ネイティブ教員のクラスで表現の定着をめざす。2 年生の夏休み以降の留学に向けて徹底的に英語・中国語の基礎力を身につけることを目標とした授業を展開している。

杏林見聞録 ⑦

総合政策学部 木暮健太郎准教授



略歴：東海大学、同大学院政治学研究科政治学専攻博士課程後期満期退学。山梨大学教育人間科学部、茨城大学人文学部、鎌倉女子大学家政学部などで非常勤講師を勤めた後、2008 年杏林大学着任、現在に至る

授業の楽しさとの出会い

大学 4 年生のとき、同級生の誰よりも早く、百貨店などを中心に民間企業への就職活動を始めました。しかし、会社で働く自分がイメージできず、ならば勉強してきた政治学を大学院で研究しようと大学院へ進むことにしました。

博士課程を終えて、初めて山梨大学で非常勤講師として教壇に立った時、「これだ!」と思いました。学生に教えることが楽しいと感じたのです。

分かりやすく、興味を持ってもらえる授業をするために、試行錯誤を繰り返しましたが、大変だと思ったことは一度もありませんでした。「先生の授業を受けて、大学院進学を決めました」と言われた時は、とても嬉しかったです。多くの

第 7 回は、政治学が専門の総合政策学部の木暮健太郎准教授です。地域での活動も多く「ハードなゼミ」と言われる木暮ゼミ。今年は特に選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられてから初めての国政選挙が 7 月に行われ、木暮准教授やゼミの学生たちが取り組んできた若者の投票率向上と政治への関心を促す活動が NHK をはじめ多くのメディアで紹介されました。

大学で教壇に立ち、2008 年に杏林大学に着任しました。

ゼミ活動から見る学生の成長

最近、木暮ゼミは地域の活性化を目的とした学外でのイベントに参加する機会が多くなり、ハードなゼミと言われているようです。しかし、このような場で自分と異なる意見を聞いたり、社会人や地域の方など、世代を超えた人々と関わるのは大切なことなので、ゼミ生にはやり遂げてほしいと思っています。

様々な経験を通じて、ゼミ生たちは積極的にコミュニケーションがとれるようになったり、素晴らしいプレゼンができるようになったりと、驚くほど変わっていきます。何より学生自身が「楽しい」「自信になる」と言ってくれることが私の支えになっています。

選挙啓発は学びの場

ゼミが選挙啓発に関わるようになったのは、羽村市とのつながりからです。多くの市民が集う羽村市産業祭や羽村高校で模擬投票などを行ってきました。その後、八王子市や三鷹市でも啓発活動の機会をいただくなどつながりが生まれました。この 7 月に学内で初めて実施した模擬投票では、これら 3 市から大きな協力を頂きました。

活動をする中で学生たちは、想像以上に若年層が選挙に関心を持っていないことに気づきました。ゼミで政治を学ぶ学



羽村市選挙管理委員会と協力して作成した選挙啓発 CM「選挙に行こう!」のラストシーン。「学生と共に関わることを大切にしています。時間をかけ、力を注がなければ結果は出ない」と木暮准教授は話す

生には大きな衝撃で、「ならば自分たちはどうすべきか」と真剣に考えるようになりました。これこそ、私が理想とする大学生の姿です。自ら問題意識を持つことが、彼らの成長につながっていると思います。

この夏、選挙権年齢が 18 歳に引き下げられて初めての国政選挙が行われました。残念ながら 19 歳の投票率は 18 歳よりも低いという結果でした。これを受け、学内で有志の学生を集めて実施した選挙を振り返るワールドカフェでは、「啓発活動の焦点が 18 歳ばかりに当てられた」「住民票の移動手続きも周知すべき」などの意見が出されました。

今後、啓発活動の対象は中高生や、既に選挙権を得ている大学生へも広げる必要があります。日本では政治を語ることにに対する抵抗が少なからずあります。学生と高校生と一緒にワールドカフェを行うなど、政治を語り、意見することが若

い人の間に広がれば、政治はもっと身近に、関心が持てるものになると思います。

生活と政治、政治と選挙の関係を授業や課外活動をとおして示し、若い人と政治をつなぐ役割を担いたいと思います。

社会が注目する今こそ、「大学で出来ることは何か」を考え、学生と一緒に活動を続けていきたいと思っています。

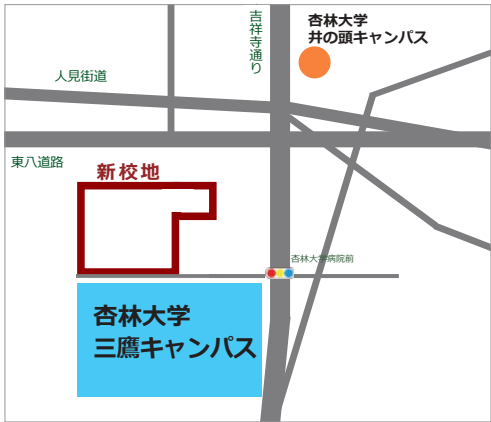
自分らしく輝いてほしい

ゼミの学生たちを見ていて思うのは、みんなそれぞれ違う良さがあるということです。だからこそ、自分らしく生きてほしいと願っています。

「自分らしさ」とは、多くの経験を通じて、自分自身で見つけるものです。学生時代に大切な何かを見つけることが出来た人は、社会人として充実した人生を送っているように見えます。

学生たちが杏林大学という場所でもっと輝けるように、これからも全力で頑張っていきたいと思っています。

新たに校地 1.35ha を取得へ 教育・研究施設と体育施設の建設を予定



新たに取得する予定の敷地は、三鷹キャンパスの高度救命救急センターから道路を一つ隔てた北側にある国家公務員宿舍「合同宿舍三鷹第 2 住宅」の跡地、13,452㎡です。

同宿舍は 2012 年の国家公務員宿舍の削減計画により廃止が決まり、土地の売却が検討されていたもので、本学園では教育環境の改善と教育施設の拡充を図るため、財務省関東財務局に対し、三鷹キャンパスの拡張用地として購入の意思を伝えていました。

同局の諮問を受けて今年 4 月 28 日、大学教授や各種団体理事など民間有識者による国有財産関東地方審議会が本学園への売却を適当と認める答申を出し、売却が本決まりとなりました。

学園は今年度中に正式に土地を取得し、必要な施設を整備することとしています。購入の申請にあたっては、講義や研究

のための施設と体育施設を利用計画案として提示しています。

松田剛明副理事長は「現在の三鷹キャンパスにある体育館や医学部の研究棟は老朽化しており改築が必要になってくる。これらの建造物を軸にどのような施設にするか、よく検討したい」と話しています。

新用地取得により杏林学園の校地は、三鷹キャンパス (57,992㎡)、井の頭キャンパス (34,568㎡)、八王子キャンパス (130,327㎡) とあわせて 222,887㎡となります。

2017年度杏林大学入試情報

保健学部と外国語学部で入学定員増を予定（認可申請中）

2017 年 4 月から、保健学部および外国語学部で下記のとおり入学定員（収容定員）増を計画し、文部科学省に定員増加の認可申請を行っています。

学部	学科	定員	前年度 差異
保健学部	臨床検査技術学科	85 名→ 120 名	+35 名
	健康福祉学科	36 名→ 50 名	+14 名
	看護学科 看護学専攻	90 名→ 100 名	+10 名
	看護学科 看護養護教育学専攻	50 名→ 50 名	± 0 名
	臨床工学科	45 名→ 60 名	+15 名
	救急救命学科	40 名→ 50 名	+10 名
	理学療法学科	45 名→ 56 名	+11 名
	作業療法学科	40 名→ 54 名	+14 名
	診療放射線技術学科	50 名→ 66 名	+16 名
計		481 名→ 606 名	+125 名
外国語学部	英語学科	110 名→ 130 名	+20 名
	中国語学科	30 名→ 30 名	± 0 名
	観光交流文化学科	80 名→ 90 名	+10 名
計		220 名→ 250 名	+30 名

※上記の内容は申請段階の予定であり変更となることがあります

入試概要 前年度からの主な変更

学部	入試区分	変更点
総合政策学部	自己推薦スポーツ制 AO	「面接」のみから「 小論文 」を追加
		9 月 -3 月の 7 期募集から 9 月 -1 月の 5 期募集 に「事前資格審査」、「(出願時)小論文」に「 (選考日)面接 」を追加
外国語学部	AO	9 月 -3 月の 7 期募集から 9 月と 12 月の 2 期募集 に

医学部一般入試 成績上位の入学希望者対象に学納金一部免除

医学部では、2017 年度入試から一般入試において本学への入学を強く希望する成績上位の生徒に対し、初年次の学納金の一部 450 万円を免除します。

学納金免除の対象は 10 名程度で、免除期間は初年次のみです。
ただし、東京都地域枠及び茨城県地域枠の合格者は対象となりません。



株式会社コラージュ代表取締役・社長。
2009 年より現職。企業のお客様対応部門
などのスタッフを対象にした講座やコンサル
ティングのほか、東京・大阪を中心に講

好きな仕事を求めて 2 度転職

卒業後最初は、会員権の販売などの営
業職に就きました。コミュニケーション
に苦手意識があったので修行のつもりで
営業職を選び、自分なりに成長している
実感もありました。3 年半経ったころ、
自分の好きな仕事で起業している人に会
い、一生懸命仕事をするなら少しでも
自分の好きなことをしたいと思うよう
になりました。そのためには「まず手に職
を」と考え、パソコンのスキルを身につ
けるため外資系 PC メーカーのサポート
センターに転職し 7 年ほど勤め、その経
験が現職のベースになっています。

パソコンやインターネットに詳しくな
り、さて、この知識を活かしてこの先何
をしようかと考えたとき、自分はもともと文
章を書くことが好きだったと思い至りまし
た。Web 制作の仕事なら文章を書いたり、
コピーライティングもできると考え、今
の会社に。これが 2 度目の転職です。

その会社は社長がユニークなメールマ
ガジンを発行しており、「面白そうな人。
会ってみたい」と思い立ち、飛び込みで
社長に面会を求め話しているうち、「一
緒に仕事をしませんか」と誘われたのが
きっかけでした。

自分にしか出来ない仕事を

ところが 7 年ほど前に社長が急逝。会
社への貢献度が評価されて私が跡を継ぐ

卒業生リレー

人が好き、を突き詰め 今の仕事に

かとう やすこ

加藤 靖子（外国語学部 1996 年卒）

演活動も行う。新規事業として自ら導入した
Web コミュニケーションの仕事が軌道に乗り、
忙しい毎日を送る。今回は加藤さんの希望で井
の頭キャンパスでインタビューしました。

ことになりました。当初は前社長が描い
たビジョンを継続するつもりでしたが、
自分にしかできない仕事でなければ会社
を続ける意味はないと考え、今までの経
験を総合的に活かせる、お客様相談室メー
ル対応を主軸にした、お客様相談窓口の
支援を事業化しました。現在の中核業務
は企業研修です。主なクライアントは企
業のお客様相談室で、その企業と消費者
との間のコミュニケーションを円滑にす
るコンサルティングを行っています。消
費者の心に届くメールの返し方や問題解
決に加え、現場の方の教育をしています。
また、企業のプロモーション用のメルマガ
の代筆や講演活動も行うようになりました。

在学中の思い出

女子バレーボール部でキャプテンをし
ていました。4 年生になっても大会に出
るほど部活漬けの学生生活でした。

授業では吉村ケイ子先生の「英米文学
概論」が印象に残っています。授業で先
生は多くの作家の人とを紹介してく
ださいました。人に興味があり、人が好
き。今の仕事に通じるものがあります。

後輩へのメッセージ

他人からどう思われるかを気にしすぎる
ことなく、自分の感覚を信じて歩んでもら
いたいです。誰かと比べてどうこうではな
く、今自分がどうしたいのかを軸に決めてい
けば、人生いつも楽しく過ごせると思います。



在学生リレー

多くの命を救う 救急救命士になりたい

きやま りょう

木山 龍（保健学部救急救命学科 3 年）

高校生の時に起きた東日本大震災が
きっかけで、「医療の前線で多くの命を
救いたい」と思い、救急救命士をめざそ
うと決めました。

大学の講義や演習、部活動以外に、救
命活動に関するボランティアをしていま
す。

ボランティア活動でスキルを磨く

病院搬送前の外傷傷病者に対する迅速
かつ適切な判断・処置を学ぶ団体 JPTEC
が主催する指導プログラムでボランティ
アをしています。

訓練を通して、救急隊員や医師など現
場の方々の判断等に触れることができる
貴重な機会です。

私も受講資格が得られる 4 年生になっ
たら、プログラムの 1 つである「プロバ
イダーコース」を受講し、認定証を取得
したいと思っています。

部長として広がる活動範囲

1 年生の時、オープンキャンパスで先
輩が救護活動を実演する姿に憧れて、救
急救命クラブ（KELC）に入部しました。

今は部長として部員 80 名をまとめ、
羽村市や八王子市の中学校での BLS
（Basic Life Support: 一次救命処置）講習や
全関東八王子夢街道駅伝での救護活動な
どを行ってきました。

BLS 講習では、人が倒れている現場に
遭遇し、救急車を要請、救急隊が到着す
るまでの間の応急手当のやり方を指導し
ます。説明が上手く相手に伝わったり、
感謝の言葉をもらった時にやりがいを感じ

じます。

自分の微々たる力が、救命活動の連鎖
として社会に広がっていけば嬉しいです。

新しい取り組みとして、今秋井の頭
キャンパスに隣接する弘済園で保育園児
の保護者と地域の方を対象とした BLS 講
習を計画しています。

救命選手権 総合3位以上を目標に

毎年東日本学生救急救命技術選手権に
出場しています。昨年度の成績「総合 3
位」のさらに上をめざし、練習を積んで
います。

学業・課外活動に励み、救急救命士を
めざして着実に進んでいきたいです。



大学や専門学校で救命に関する活動をしている学
生が参加して行われる東日本学生救急救命技術選
手権。内因性疾患や外傷事故など 5 つの想定に対
して、救命に必要な判断力、処置技能などを審査し、
順位を競う

文部科学省補助対象事業報告

COC〔地（知）の拠点整備事業〕

生きがいづくりコーディネーター養成講座 社会人 17 名が受講



7 月に行われた外国語学部倉満江教授の授業

前年の 5 倍を超える社会人受講生

本学は、地域の活性化に貢献する人材
の養成を目的に、社会人を対象とした「生
きがいづくりコーディネーター」養成講
座を開講しています。今年度は、これま
での 5 倍を超える 17 名が学んでいます。

この講座は、文科省の COC 事業の一
環として行っており、受講者が同事業の
テーマ「生きがい創出」「健康寿命延伸」
「災害に備えるまちづくり」について知
識を深め、修得した知識を地域活動に活
かしてもらうことを目的としています。

1 科目 15 回、年間 120 時間超受講

講座は、必修の特別講座と、指定する
34 科目から 5 科目を選ぶ選択科目で構

成され、年間 120 時間以上受講します。

特別講座「世界へのまなざしと地域活
動」では、来日した英語圏・中国語圏の
人たちとのコミュニケーションに必要な
異文化理解・日常会話などの基礎を学び
ます。選択科目の「地域保健学」「社会福
祉学」「ホスピタリティ・コミュニケーショ
ン」は、保健・総合政策・外国語学部の
科目で、1 科目あたり 15 回受講します。

修了時には文科省の学校教育法に基づく
プログラム修了の証明書が授与されます。

意欲的な感想と講座の今後

前期の講座を終えた 8 月 3 日、履修生
と大学の間で意見交換会が開かれました。
履修生は「学んだことを他者に伝えたい
と思う」「学生時代より学びたいと感じ
る」「1 日で複数科目履修できるように
してほしい」と感想や要望を寄せました。

講座を取りまとめる外国語学部准教授
の古本泰之地域交流推進室長は「在学生
にとっても地域の方々と同じ教室で学ぶ
ことが新たな刺激となるよう期待してい
ます」と話しています。

AP〔大学教育再生加速プログラム〕

高校生に学部科目を開放 特別聴講制度スタート

外国語学部の 16 科目が対象

本学では、AP 事業として様々な高大
接続を進めています。

大学教員が高校の教育現場を知るため
に高校教員を講師に迎え、講演会を開催
したほか、「杏林 AP ラウンドテーブル」
として、年 3 回連携高校の教員を大学に
招いて情報交換を行っています。

これまで高校生へも語学合宿やライ
ティングの指導などを実施してきました
が、秋学期からは連携高校等の生徒を対
象に外国語学部の 11 のグローバル科目
と 5 つの COC 科目を開放します。

28 年秋季学期 高校生 10 名が 特別聴講生に

すでに連携高校から、10 名の生徒が
特別聴講生として在学生とともに後期
15 コマの講義を受講することが決まっ
ています。

さらに次年度からは、アドバンスト・
プレイスメント（高校生が在学中に大学
の科目を受講し、定期試験も受け、最終
的に単位認定を受ける制度）を始める計

画です。

まず杏林大学単独でアドバンスト・プ
レイスメントを開始し、その後は他大学
で認定した単位を別の大学でも認定でき
る米国型のアドバンスト・プレイスメン
トへの移行に向け、現在近隣の 4 大学と
協議を重ねています。

高校生へも開講する科目

グローバル関連オープン科目

異文化コミュニケーション
ことばと文化
アジアンホスピタリティ

COC 関連オープン科目

日本文化論 など



大学で学生と共に授業を受ける特別聴講制
度。学問を探究する面白さを体験できる

学部・大学院トピックス

医学部

より実践的な体験型学習に向け 学生が実習シナリオを作成 麻酔科のユニークな取り組み

医学部では 1 ～ 3 年次で基礎医学や社会医学など医師として基本的知識を修得するとともに、医師に求められる姿勢や態度を学びます。3 ～ 4 年次では臨床医学の講義により最新の医学知識を修得します。5 年次の臨床実習（BSL = Bed Side Learning）では、全 28 科を 39 週

かけて、基本的な臨床技能を学ぶとともに臨床医学の講義で学んだ知識を実地臨床に応用する能力を養います。

学生を受け入れる各科ではこの臨床教育に力を入れています。大学内の優れた教育改革の取り組みとして認められた麻酔科の BSL を紹介します。



患者に見立てた高機能シミュレーターに、エアウェイスコープを使用して、チューブの位置を確認しながら、気管内挿管の手技のトレーニングを行う学生。中央は指導にあたる本保医師

高機能患者モデルを使った臨床実習 麻酔管理の理解を深める

麻酔科学教室での臨床実習は、全身麻酔を行う際の使用薬剤や麻酔導入時の生理的な変化と対応を習得するため、4 年前から患者に見立てた米国社製の高機能患者シミュレーターを用いて BSL を行っています。

高機能シミュレーターは、平常時の麻酔管理の他、肥満、高血圧、虚血性心疾患など様々な患者の病態をシミュレーションシナリオで再現させ、適切に処置や薬物投与を行えば症状が改善し、処置が不適切だと病態が悪化することを体験

できます。

2 年前からは、これまでの BSL では行なわれていなかった高血圧に心筋梗塞などを合併した病態に関する新しいシナリオ作りをする学生を 4 年次から募り、学生自らが作成することでより高い教育効果をねらっています。

シナリオを作成する過程で学生たちは、バイタルサイン（血圧や心拍数、心電図などの情報）が示す病態の急変のメカニズムをディスカッションして処置や投薬の意義を確認します。

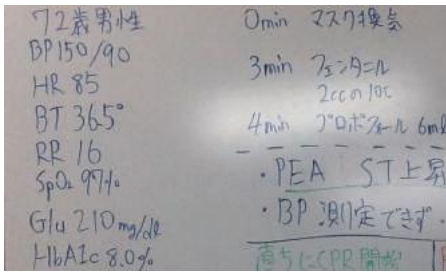
その上で高機能シミュレーター用のプログラムの作成を行うことで、実践的な麻酔管理について理解を深められるようになります。

医療の現場を想定した訓練が可能に

机上で議論したことを高機能シミュレーターを使ってトレーニングすることにより、医療現場に入って初めて遭遇するような発生頻度の低い危険な病態を経験することができます。誤薬を誘引するシナリオも経験させます。

これらは、学生の BSL だけでなく、麻酔を研修する初期研修医のトレーニングにも活かすことができます。

4 年次に体験することによって、病院の手術室で行われている 5 年次の麻酔科



学生が作成した高血圧、糖尿病、陳旧性心筋梗塞を合併した 72 才男性のシナリオ

この取組は学内の優れた教育改革の取り組みとして、26 年度・27 年度続けて学内 GP※に採択され、ブラッシュアップされました。

※学内 GP（Good Practice）：学内における教育または学習支援に関わる先駆的な取り組みを支援するための制度で、採択されたものには、大学が経済支援を行っている。終了後、学内 GP による成果は、学内外に公表して共有を図っている

の BSL にもスムーズに入ることができ、学習も深まり、たいへん有意義だと考えています。（麻酔科学教室教授 **萬知子**）



麻酔科学教室スタッフと学生。右端が萬教授

保健学部

キャンパス移転に伴い学校保健室を新設 現場さながらの授業始まる



（左）学校保健室内の様子。大型スクリーン、教卓、サイドテーブル付きチェアが配置されている。奥は保健室コーナー。（右）保健室コーナーにはベッド、処置台、体重・身長計、視力・聴力検査器、応急手当の用具、担架などが配置されている



学校保健の専門家 養護教諭を育成

健康福祉学科、看護学科看護養護教育学専攻では小中高等学校の保健室の先生として児童・生徒の健康管理の専門家、養護教諭を養成する教育を行っています。

井の頭キャンパスに学校保健に特化した多目的演習室が新設されたことで、現場さながらの演習や授業内容の復習が日常的に行える環境が整いました。

八王子キャンパスでは、スペースの関係で、指導教員が授業のたびに必要な物品を教室まで運び入れていたので、学生は健康診断の器具等にも年に数回しか触れることができませんでした。新しいキャンパスでは、学生がいつでも機器に触れることができる学校保健（演習）室が設置されました。

演習も行える学校保健室

室内は、教卓と可動式チェアが配置された講義スペースとベッド、処置台、体重・身長計、視力検査器などが配置された保健室コーナーとなっています。

学校保健室で演習をしながら解説が必要な場面ではマルチメディアを使った講義ができるほか、これらを自由に動かして多目的に使用することもできます。

学校保健室はスライド式ドアを隔てて最大で 120 人が学べる講義・演習室ともつながっています。講義・演習室では机と椅子を移動すれば学校現場での救急処置、健康診断、健康相談、保健指導等の演習が可能です。このように学校保健に関する一連の講義と演習が効率よくできる動線が整備されました。



学校保健室で指や足首などの骨折時の包帯法を学ぶ（左）。講義・演習室で行われた傷病者の搬送演習（右）。学校保健室と講義・演習室が隣接したことで、授業の前半・後半で学生は入れ替わり、2 つの授業をスムーズに行うことが可能になった

看護学科看護養護教育学専攻 亀崎 路子 教授

授業の一部は、養護教諭をめざす健康福祉学科の学生と行っています。メディカルを学ぶ者同士はもちろん他学部との交流も身近にあるのが杏林大学の特長です。「杏林出身者はバランスが良い」と言われる理由だと思います。

学生には、幅広い知識を身につけ、学校保健の現場で力を発揮してほしいと思っています。



健康福祉学科 荻津 真理子 講師

学校保健室内の備品等の選定や配置は、学校保健の現場を経験してきた私たち教員が行っています。

授業も、学生がイメージしやすいよう現場で起きた事例を織り交ぜて話をします。学校保健室は、予習復習やインターンシップ、養護実習、教員採用試験の実技練習等、学生の自主学習に大いに活用してもらいたいです。



総合政策学部

3つの新科目が加わりキャリア教育充実

総合政策学部では、教員とキャリアサポートセンターが連携して学生のキャリア形成や進路決定のための支援を行っています。

2016 年度からは、第 2 次キャリア教

育改革としてキャリア関連科目に複数の新科目をスタートさせました。新科目のうち最も特色のある「ライフ・プランニング」について紹介します。



キャリア関連の新科目「ライフ・プランニング」スタート

就職、結婚、出産・子育て、住宅の取得や老後の生活など、人は人生の様々な場面で重要な選択を迫られます。2016 年 4 月に開講した本講座は、学生が大学卒業後の「ライフ・プランニング」を行えるように、必要な知識を習得し、その後のキャリア選択に役立てることを目的とした、1 年次の必修科目です。

前期は働き方と生涯年収の関係、ライフイベントにかかる費用、保険や金融資産の運用を、後期は税金や医療・介護に

かかる費用、不動産、相続を学びます。

結婚するかしないか、子どもにどのような教育を受けさせたいのか、持ち家か賃貸か、老後の生活はどうするのか、自分の今後の人生についてそのマネープランを中心に検討する中で、自分のキャリアに必要な知識やスキルを明確にしていきます。同時にこの学習をきっかけとして専門科目へのスムーズな移行が期待されています。

(総合政策学部准教授 藤原 究)

キャリア関連科目

最適な時期に修得する必修科目と計画的に学習する選択科目、課外科目等で自分に必要な力を身につける

必修科目	※は 2016 年度開講
【1 年次】ライフ・プランニング※、時事問題研究※	
【2 年次】計算力演習、ライティング演習※、キャリア開発論	
【3 年次】キャリア開発演習	
選択科目	
【2 年次～】情報処理演習※、インターンシップ	
課外科目	
公務員教養科目講座※	
SPI 対策講座※	
資格対策のための専門科目	
不動産取引と法※	



キャリア開発演習で行われる「就活トライアル」の様子。現役の人事担当者による模擬面接（写真）やグループディスカッションなど本番さながらの就職活動を 3 年生全員が体験する

前期授業をふりかえって

聴き手：講座担当 藤原 究准教授
回答者：市原 悠さん、関口 さゆりさん



藤原：ライフプランとお金について学習したよね。

市原：想像以上にお金がかかる、と皆驚いていました。職種や住環境、家族構成で必要なお金が全然違う。当たり前だけのためにになりました。

関口：大学生になるまでの養育費等もわかり、親のありがたさが身に染みました。授業をきっかけに将来についての親子の会話が増えました。

藤原：参考になる話や考えたりしたことはありますか？

市原：授業では金融や流通業界の方から直接話を聞く機会もありました。ブラックバイトや預金の話は身近で参考になりました。

関口：社会のルールや仕組みを学び、自分の人生に必要な選択をしていくことがとても大事だとわかりました。

藤原：後期は、税金や不動産、それから相続について勉強します。

1 年生のみなさんには馴染みのないテーマと感じるかも知れませんが、例えば、アルバイトするときに税金がかかる境目の「103 万円の壁」「130 万円の壁」なんていうものがあったり、街で不自然な道路や家屋ができていて理由がわかったりとみなさんの興味を引くテーマと絡めて進めていきたいと思っています。

年度末には自分のライフプランが立てられるように頑張ってください。

外国語学部

留学で高める外国語力と異文化理解力

本学の協定校は、14 カ国・地域の 52 大学・機関（2016 年 7 月現在）へ広がり、様々な留学支援制度があります。そのうち交換留学として学生の受入れ・派遣をしているの

中国語ゼロからのスタートで最高レベルのHSK6 級を取得

〔2015 年 3 月～2016 年 1 月 北京第二外国語学院交換留学〕 中国語学科 3 年 今川 忠対 勲

いまがわ ただつく



大学入学後に初めて中国語を学習し、1 年後の 2 年次で留学をしました。

留学当初は、中国語で行われる授業についていくのが大変で、毎日単語を繰り返し音読して語彙を増やしたり、仲良くなった中国人学生に学習パートナーになってもらい、一緒に食事をしながら会話の練習をしたりしました。

3 カ月が過ぎた頃には、授業もほとんど理解でき、韓国人、モロッコ人、キル

ギスタン人と国際色豊かなクラスメイトとのコミュニケーションも全て中国語で行えるようになりました。

ホームシックになった時には、現地の学生が伝統的な火鍋のお店に連れて行ってくれたり、話を聞いてくれたりしました。

休暇中には桂林やハルビンなどへ旅行し、中国の広大さや文化の違いを肌で感じ、この国への興味が一層強くなりました。

帰国後受験した中国語検定では、最高レベルの HSK6 級を取得することができました。3 年生になった現在は、交換留学を含む中国からの留学生と一緒に授業を受け、留学時代とあまり変わらない環境で中国語を磨いています。

卒業後は、中国に拠点がある企業で現地駐在員として働き、経験を積んだのち、将来は、日中の民間交流活動に何らかの形で携わりたいと思っています。



体育祭での大縄跳び。様々な国の学生と息を合わせて飛びました。先頭を飛ぶのが私

は、16 大学(2016 年度実績)あります。交換留学では、留学先の授業料が全額免除されます。中国、韓国などアジア圏へ留学した学生の様子を紹介します。

視野が広がり、自国の理解の大切さにも気づかされた

〔2015 年 8 月～2016 年 7 月 韓国高麗大学校交換留学〕 観光交流文化学科 3 年 とがわ あさみ

とがわ あさみ



将来は好きな韓国に関わる観光の仕事をしたいと思い、韓国語と観光分野が学べ、韓国への交換留学制度がある杏林大学に入学しました。

留学当初は不安もありましたが、留学生のサポートサークルが生活を細やかに支えてくれました。

留學生の出身国はイギリス、中国、ウクライナ、フランス等様々で、英語でもコミュニケーションをとっていました。

授業は語学のほか、一般教養科目なども受講しました。「韓国伝統文化」では、日中の歴史・文化と比較して韓国について学びました。クラスで日本人は私一人のため、毎回日本の文化や伝統を先生に

質問されました。自国の歴史や文化などを学ぶ大切さを感じました。

「韓国歴史入門」では、数十人の学生の前で韓国語で発表をする機会がありました。緊張感と達成感を味わった思い出深い授業でした。

資格外活動許可書を取得し、飲食店で 3 カ月間アルバイトをしました。一日でも早くお店の雰囲気慣れ、周りの人との意思の疎通ができるよう努力しました。

留学で韓国語、英語が上達し、様々な異文化の人と接することで、視野が広がりました。

観光産業への就職をめざす私にとって貴重な経験になったと思います。



留学中の学生が一堂に会し大学内の講堂で行われたフェアウェルセレモニー。いろいろな思い出が頭をよぎりました



金田一 教授の研究室から ⑬

新キャンパスのふしぎ



井の頭に移って、学校が不思議なことになっている。思いがけない変化が起きている。

今まで、宮下町（八王子キャンパス）には、アライグマやタヌキがふつうに生息していた。いつぞやはイノシシが中庭を走り回ったこともあった。学校にそのような獣がいてもあまり驚かないのだが、この 4 月からは、ふつうの人が、学校の中を平然と歩いているのだ。お年寄りが車いすに乗って、介護の人に押されて歩いている。小さな子どもが、若いお母さんに連れられて、構内を通り抜けていく。当たり前ではないかと、都心の学校の先生たちには言われるかもしれないのだが、私のような田舎暮らしの大学教師にとって、研究室の窓の下を、虫や鳥、野生動物以外の、ちゃんとした人間が歩いているのは、珍しくて仕方ない。

最近も不思議なことを聞いた。学校の売店に近所のおばさんたちが買い物にきているというのだ。朝、列をなしていることもあるという。新キャンパスには、売店や食堂もある。ただ、今までよりも狭い。いささか不便をかこっていたのだが、そこにさらに、部外者が押し寄せているという。早速売店の

金田一 秀穂（きんだいち ひでほ）：1953 年東京生まれ。東京外国語大学大学院修了。中国大連外語学院、米イエール大学、コロンビア大学などで日本語講師。1988 年より杏林大学外国語学部で教鞭をとる。

人に聞いてみると、噂は本当だった。おにぎりやサンドイッチ、お弁当を買いに来る近隣の人がかかりいるという。

学校の周りにはマンションや団地が多いけれど、買い物は不便である。そのまっただ中に出来た学校である。昼ごはんを食べたい主婦が買い物に来て、不思議ではない。

それにしても、それにしても、大学はコンビニの付属物か。

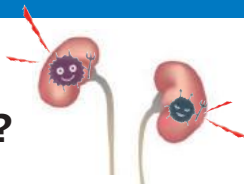
大学は勉強する場所である。新しいキャンパスは、図書館が市民に解放されている。授業がいくつか一般に開かれていて、私の講義を聞きに来てくださるお年寄りも何人かいらっしゃる。生涯学習に励む人たちにはもちろん、それを見た若い学生にも、とてもいい刺激になっている。しかし、近所の主婦たちにとって、学校は、その本分などには関わりなく、何よりも、昼ごはんを売っているところであるらしいのだ。

思いがけないことだ。とても面白いことになってきた。



健康ひとくちメモ ⑬

腎盂腎炎を知っていますか？



この病気を知らないためにそのまま放置し、悪化する場合があります。腎盂内（腎臓内の尿のたまるところ）で細菌が繁殖し腎臓にまで炎症が及んだものを腎盂腎炎といいます。

本来、健康な人は膀胱から尿管、腎盂には細菌は存在しません。それが何らかの原因で細菌が侵入して炎症を起こすのです。細菌の侵入経路で、もっとも多いのは尿道の出口から侵入した細菌が尿の通り道を遡り腎盂に達して起こるケースです（上行性感染）。稀に、血管を通して腎臓に感染することもあります（血行性感染）。主に大腸菌、緑膿菌などグラム陰性桿菌と腸球菌です。なかでも大腸菌による感染が約 90% に達します。

腎盂腎炎は女性に多く発生する傾向があります。理由に、女性の方が、大腸菌などが存在する肛門と尿道の距離が近いこと、尿道が短いことなどが挙げられます。また生理や性交で陰部が不衛生になったり、妊娠による子宮の増大で尿管が圧迫されて尿の流れが悪くなることもあるため発症しやすいと考えられています。腎盂腎炎を繰り返す場合には、尿の通り道に生まれつきの異常がある場合もあります（膀胱尿管逆流現象）。

背中や腰が痛む・熱がでる（38℃以上

が多い）・膀胱炎の症状があるなどが主な症状です。急性腎盂腎炎はこれらの症状が急激に表れます。吐き気がする・寒を感じる・全身がだるくなるなどの症状がでたり、時には脱水による意識障害がでることもあります。さらに重くなると細菌が腎臓から血流に乗って全身へ広がり、命に関わることもあります。尿の通過障害のある場合には、緊急処置が必要となります。

治療は抗生剤が中心です。主として経口抗生物質で速やかに改善しますが、時には入院して抗生物質の点滴を受けなければならない場合もあります。腎盂腎炎をおこしやすくする原因があれば、それぞれに対応した治療を行います。特に尿の通過障害がある場合には、緊急に通過の改善処置を行います。

腎盂腎炎の予防にはお風呂やシャワーなどで陰部を常に清潔に保つことが大切です。できれば排便後に陰部の洗浄を行うとよいでしょう。万が一細菌が尿道に入り込んだとしても、腎臓にまで上ってこないように尿で流してしまうことも大切です。そのため水分を適切にとって、膀胱に尿を溜めこまないうちに排尿するのも、ポイントです。

（桶川隆嗣：杏林大学医学部泌尿器科・教授）

お力やわかつぐ

杏林大学医学部卒業。同大医学研究科修了。杏林大学医学部泌尿器科入局、米国テキサス大学（サウスウェスタンメディカルセンター）泌尿器科（腫瘍学研究員）を経て、2014 年教授就任。



井の頭・三鷹両キャンパスではクラブ、サークルとして 66 団体が活動しています。今回は、ダンス部とバドミントン部を紹介します。

● Slave to the Rhythm（ダンス部）音楽とダンスが好き。観る人も楽しめるダンスをめざして



ダンス部は今年度、過去最高の 70 人の新入生を迎え、外国語学部、総合政策学部、保健学部の学生総勢 140 人が所属しています。

ダンスのジャンルは多様で、私たちはヒップホップやブレイク、ロック、ポップ、ジャズヒップホップ、女性の美しさを表現するジャズファンク、腕をしなやかに動かすワック、脚を早いテンポで動かすハウス、様々な感情を表現する R & B の 9 種類を踊っています。

入部時に選んだジャンルごと、4 年生が基礎から動きを指導します。本番に向け、観客に伝えたいことをイメージして選曲を行い、部員たちの感性で振り付けや表現を考えます。

卒業後もダンスを続ける人が多く、中にはプロのダンサーになった部員たちの

憧れの先輩もいます。

活動の場は、新入生歓迎会や学園祭、クリスマスや卒業イベントの他、地域の方々が主催するイベントなどです。昨年はフラッシュモブで「八王子いちよう祭り」の PR、今年は三鷹市の「花いっぱいフェア」でダンスを披露しました。

三鷹市第六小学校でダンス教室を計画しており、活動の幅を広げていきます。

ダンスには、観客を惹きつける力があると私たちは信じています。ダンスのイメージは様々ですが、私たちが踊る姿を観てダンスの素晴らしさや楽しさを感じてほしいです。

これからも周りの人や部員とのつながりを大切に、杏林大学の名に恥じぬよう日々練習に励みます。

（副代表 / 外国語学部 3 年 土井 捺未）

● バドミントン部 瞬発力と持久力を武器に 巧みな試合戦術で挑む



医学部、保健学部、看護専門学校の学生 45 人で活動しています。練習は、基本的に月水金曜日は三鷹キャンパス松田記念館で行い、日曜日は自主練習日としています。

練習では、フットワークなどの体力強化トレーニングやシャトル置き、ノック練習、実戦を意識したスマッシュやクリアなど各ショットのパターンなどを行います。ハードな練習ですが、初心者、経験者の区別なく楽しく活動しています。

関東大学バドミントン春・秋リーグ、東日本医科学生体育大会（東医体）、関東コメディカルリーグに出場しています。今春のリーグでは男子は 2 部準優勝、女子は 1 部優勝を収めました。

この 8 月の東医体では男子ダブルスで菅野・近藤組がベスト 16、渋谷・西山組がベスト 32、男子シングルスで菅野がベ

スト 32 の成績でした。大会では他大学の選手と交流できるのも楽しみの一つです。そのほか、慈恵医科大学や北里大学などとは練習試合も盛んに行っています。

オリンピックや世界選手権、プロリーグ等の放映機会も多く、華麗なプレーや気迫あふれるプレーを見た人も多いと思います。バドミントンは見かけよりハードで難しい競技です。コートに立つとシャトルの動きはとても速く、瞬発力とチャンスを粘り強く待つ持久力が必要です。シャトルが飛び交う短い間に、コースを読み、相手の動きを見ながら打点や角度、速度に変化をつけたり、色々な戦略をたてます。試合後は心身ともに疲れますが、勝った時の達成感は格別です。皆さんもチャレンジしてみませんか。

（部長 / 医学部 4 年 柳澤 良晃）

編集を終えて

- 2016 年、創立 50 周年を迎えた杏林大学は、教育の質の向上を第一に次の 50 年への一步を踏み出しました。16 号ではこの機会に 4 学部学生座談会を企画しました。（有）
- 今夏初めて井の頭キャンパスで行ったオープンキャンパスは、去年の八王子キャンパスでの開催に比べて来場者が 1.5 倍、中でも文系 2 学部は 1.8 倍を超えました。一過的な“移転効果”に終わらせないように皆でさらに杏林大学の実を挙げていきましょう。（ふ）
- リオ五輪が終わり、4 年後の東京への夢と挑戦が始まった。そのとき杏林大学新聞は何を伝えているだろう。ワクワクが止まらない。（酒）